

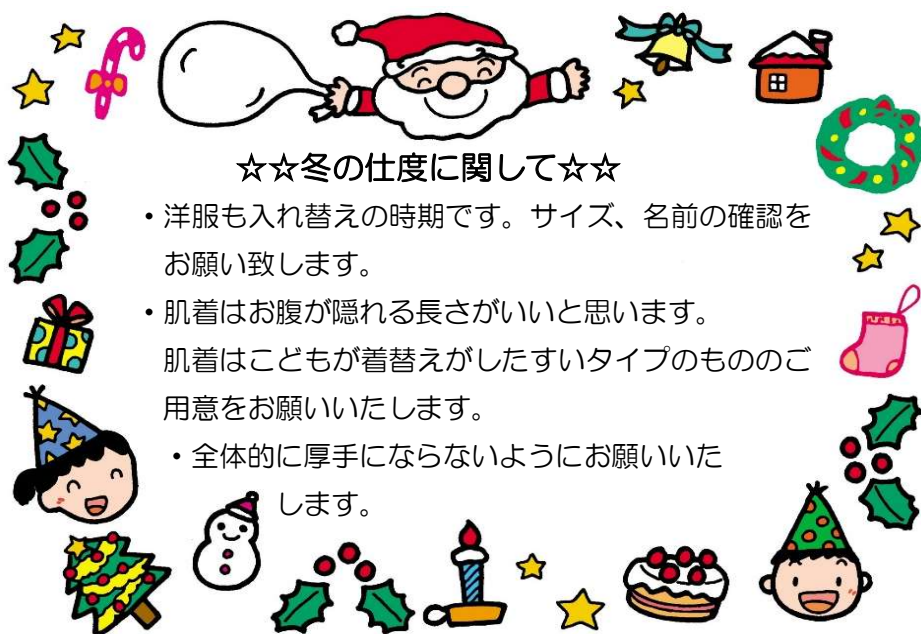


2025 年 12 月 1 日 末長こぐま保育園

いちご組担任

寒さも少しずつ厳しくなり冬の訪れを感じる頃となりました。上着を着て散歩に出かける日が増えてきました。公園の木々も色付きカラフルな落ち葉拾いに夢中なこどもたち、きれいな色の落葉を拾ったり、手で握ってパラパラしたり、地面や縁石に落ち葉を並べて見たりと遊びを楽しんでいます。

12 月はクリスマスに年末年始と保護者の皆さんにとっては慌ただしい時期となります。ですが、子どもたちにとってはワクワクの 12 月です。クリスマスツリーやクリスマス飾りに目をキラキラさせることでしょう。いちご組でも歌あそびや製作を通してクリスマスと年末年始を楽しく過ごしていきます。



☆☆冬の仕度に関して☆☆

- ・洋服も入れ替えの時期です。サイズ、名前の確認をお願い致します。
- ・肌着はお腹が隠れる長さがいいと思います。
肌着はこどもが着替えがしやすいタイプのもののご用意をお願いいたします。
- ・全体的に厚手にならないようお願いいたします。



遊びが広がる

～室内環境を変えてみたら～

成長とともに、あそびかたが変わってきました。摘まれた積み木を崩す、車を走らせるなど単純な遊びから、積み木を積み上げて喜んだり車を連結させては知らせたりしていますまた鍋やコップなどの器にブロックやボールを入れて食材に見立てたり自分で考えて遊ぶ姿が多くなりました。友達の遊ぶ姿をよく観察して楽しそうな遊びをしていると他も子も集まってきて同じ遊び意をして声をあげて笑い、とても楽しそうです。

指先もいつの間にかとても器用になり音のなるおもちゃのスイッチの場所もしっかり覚え、一人でスイッチを入れ楽しそうにリズムに乗って遊んでいます。毎日がお友だちと一緒にとても楽しそうです。



自分でやりたいの



着替えや食事など、毎日行っている身の回りのことは「自分でやりたい」と様々なことをやってみたい！という気持ちが育ってきています。まだまだ援助は必要な場面も多いですが「足をいれて」というと足をズボンの中にいれてみたり自分でズボンを履ける子も出てきました。「やってみたい」気持ちを大切にして援助していきたいと思います。

ゆとりのあるサイズ、伸縮性のある生地を選ぶと頭や手足が通しやすく、より楽しく着がえられます。お家でもお着替えの時、食事の時、子どもたちの成長している姿が感じられると思います。ぜひ、子どもたちのチャレンジする“やりたい”気持ちを見守りつつ可愛らしく、ほほえましい姿を見守ってください